

文化・芸術

〈名画の扉〉

大川美術館企画展から

20世紀という激動の時代を生き、鋭い観察眼によって社会問題をとらえ、人々への共感のなかに描き続けたベン・シャーン。その作品は多様なメッセージを放ち静かな詩情をたたえている。

松本竣介（1912～48年）を主軸画家として作品収集を続けた初代館長・大川栄二は、竣介とシャーンの「2人」について次のような言葉をのこした。「シャーンが後期の個性的リアリズムに転向してからの2人のスタンスとデッサンが、私には二重映しになり、特に人間がとことんまで好きだった2人の愛の虜

（小此木）

◆お知らせ 27日（土）午後2時から、対談・

黒田亮子×田中淳「大川美術館のコレクション」を開催します。

「特集展示

ベン・シャーン」

展示室風景

